

【貯法】

- 遮光して、30℃以下で保存
- 気密容器

外用殺菌消毒剤

【禁忌(次の部位には使用しないこと)】  
瘻孔、挫創等本剤を使用した際に体腔にしみ込むおそれのある部位

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意  
長期間又は広範囲に使用しないこと。
2. 副作用(本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない)

- 1) 重大な副作用  
空気塞栓: 空気塞栓を起こすことがあるので、循環動態に異常を認めた場合など空気塞栓が疑われる症状がみられた場合は、速やかに本剤の使用を中止し、適切な処置を行うこと。

2) その他の副作用

種類\頻度	頻度不明
口 腔	口腔粘膜刺激(連用による)

3. 適用上の注意
  - 1) 投与経路  
外用にのみ使用し、内服しないこと。
  - 2) 使用時
    - (1) 眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。
    - (2) 易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用する場合よりも低濃度とすることが望ましい。
    - (3) 深い創傷に使用する場合の希釈液としては注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。
4. その他の注意  
長期大量経口投与によりマウスの十二指腸に腫瘍の発生が認められたとの報告がある。

JAN



GS1-RSS

(01)14987296300157



日本薬局方  
オキシドール

オキシドール「ヤマゼン」M



製造販売元



山善製薬株式会社

大阪市中央区道修町2丁目2番4号

2008年7月改訂(第3版)

日本標準商品分類番号 872614

承認番号 16000AMZ06495 薬価収載 1985年12月  
販売開始 1985年12月 再評価結果 1983年4月

【組成・性状】

本品1mL中、過酸化水素(H<sub>2</sub>O<sub>2</sub>:34.01)30mgを含有(3%)  
%)添加物としてフェナセチン、エタノールを含む。  
本品は無色澄明の液で、においはないか、又はオゾンよ  
うのにおいがある。pH:3.0~5.0 比重(d<sub>20</sub><sup>20</sup>):約1.01

【効能・効果】【用法・用量】

効能・効果	用法・用量
創傷・潰瘍の殺菌・消毒	原液のまま、若しくは2~3倍に希釈して塗布・洗浄する。
外耳・中耳の炎症 粘膜の炎症 鼻炎 咽喉頭炎 扁桃炎 など	原液のまま塗布、滴下又は2~10倍(耳科の場合、ときにグリセリン、アルコールで希釈)に希釈して洗浄、噴霧、含嗽に用いる。
口腔粘膜の消毒 齶窩(うか)及び根管の清掃・消毒 菌の清浄	原液又は2倍希釈して洗浄・拭掃する。
口内炎の洗口	10倍希釈液を用いる。

製造番号:

使用期限: